

都市再生整備計画 事後評価シート  
江戸川台西地区

平成26年3月

千葉県流山市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	流山市	地区名	江戸川台西地区			面積	33.2ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1,035,499百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(道路) 江戸川台駅西口駅前広場改修、市道東深井市野谷2号幹線 (高質空間形成施設) 3・5・17視覚障害者誘導用ブロック設置、照明施設、ファニチャー、視覚障害者誘導用ブロック								
		提案事業	(地域創造支援事業) 交差点改良(コンパクト化)、バスシェルター等設置、江戸川台駅西口駅前広場再生計画策定、踏切拡幅(歩道整備)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業									
	新たに追加した事業	基幹事業									
提案事業		踏切拡幅(歩道整備)	市道東深井市野谷2号幹線の本格供用に伴う通過交通量の増加による交通及び歩行者の安全確保のため追加する。			なし					
交付期間の変更	当初	平成20年～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	流山新拠点とのアクセス時間	分	10	H19	7	H24	7.7	あり なし	実際に測定し、効果を確かめたところ、交通量の増加・信号機の増設により、目標値のアクセス時間を達成することができなかったが、従前値より向上している。	-
	指標2	地区内の歩行移動時間	分	11.3	H19	8.5	H24	5.9	あり なし	市道東深井市野谷2号幹線の完成により、アクセス時間が短縮され、指標の達成につながった。	-
	指標3	バスと鉄道の乗り換え所要時間	分	1.50	H19	0.67	H24	0.42	あり なし	住民の意見が反映された駅前広場の改修が実施され、利便性が向上し、指標の達成につながった。	-
	指標4								あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4) 定性的な効果発現状況	駅前広場等の清掃に地元住民が参加するようになり、地元意識に変化が見られ、関心を持って管理するようになった。今回の改修により、地元の強い要望であるシンボルツリーを残すことによって景観の質が高まり、良くなった。										
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	江戸川台駅西口広場づくり懇談会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				住民との協働により、適切な維持管理を実施し、駅前広場については街の拠点となるような空間を目指していき。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2 - 2 地区の概要

江戸川台西地区(千葉県流山市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 交通環境の整備を契機とした住環境の向上を図り、だれもが安全かつ快適な地域生活拠点づくりを目指す。 目標1 流山新拠点との地域連携を図る。 目標2 地域生活拠点として安全かつ安心して歩ける歩行環境の拡充を行う。 目標3 地域生活拠点として安全性と利便性の高い交通結節点の再整備を行う。	流山新拠点とのアクセス時間	単位:分	10	H19	7	H24	7.7	H25
	地区内の歩行移動時間	単位:分	11.3	H19	8.5	H24	5.9	H25
	バスと鉄道の乗り換え所要時間	単位:分	1.50	H19	0.67	H24	0.42	H25
		単位:						
		単位:						
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題1:流山新拠点と地域連携 道路が完成したため、アクセス性が向上し、地域連携が図られるようになった。</li> <li>課題2:安心安全な歩行環境の整備 歩道整備とバリアフリー化を図ったことにより、安全な歩行環境が整備された。</li> <li>課題3:交通結節点(江戸川台駅西口広場)の再生 バスと鉄道の乗り換えの利便性・安全性が向上した。</li> </ul>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しく完成した道路の安全対策に努める。</li> <li>歩道及び江戸川台駅西口広場に対して、安心安全な状況を持続させるための維持管理を行う。</li> <li>通行車両の走行速度を抑制するための施設設置を検討する。</li> <li>地元自治会を通じ、利用状況等の意見を聞き、今後の維持管理に生かしていく。</li> </ul>							